提出日　　　月　　　日

令和　年度　学習評価実施報告書

○○中学校　　年　　　科　主任教諭　担当教員

１．計画の履行状況

２．特色ある取組

３．学習評価を学習改善に生かした取組

４．実施上の問題点

５．来年度へ向けての改善点

提出日　３月２８日

令和３年度　学習評価実施報告書

○○中学校　１年　国語科　主任教諭　担当教員　　○○○○

１．計画の履行状況

　生徒に身に付けさせる資質・能力に関して、知識・技能の学習評価についてはほぼ計画通りに実施できた。漢字やことわざテストについても定期考査での習得（知識）問題についても、例年よりも高い得点を取る生徒が多くなり、また学力のD層の生徒もねばり強く取り組む姿が多く見られ、授業中の相互評価活動の成果が得点のアップにつながっているように感じられた。しかし、ルーブリックを用いた作品評価が計画した３回のうち１回に留まるなど次年度への課題を残した。

２．特色ある取組

　今年度初めて、２学期に３分間スピーチに取り組み、授業中にスピーチを行わせてルーブリックを用いた観察法による学習評価を行った。生徒たちはやや緊張していたが、英語科でのスピーチテストに慣れつつあるためか、全員が何とかやり遂げることができてほっとしている。事前にスピーチ評価のためのルーブリックを配付していたので、努力するポイントが明確になるとともに、授業中に相互評価活動による２回の修正改善サイクルを取り入れたため、どの生徒もしっかりとしたスピーチを行うことができた。指導と評価の一体化の成果を感じることができた。

３．学習評価を学習改善に生かした取組

　上述のようにスピーチ活動を行った２学期の単元では、生徒同士の相互評価活動を取り入れ、その結果を相互にフィードバックすることを通して、スピーチの改善課題と改善の具体案が明らかになって、生徒たちは主体的・対話的に２回のスピーチの修正・改善を意欲的に行うことができた。また、各学期に１回ずつ実施した「書く活動」による説明文、意見文、社説という３つの作品の推敲につながる自己評価活動と相互評価活動もルーブリックを取り入れることで効果的であった。

４．実施上の問題点

　ルーブリックの作成に想定外の時間がかかったため、予定していた回数を実施できなかった。特に、一人で作るだけでなく、本校では各教科の複数の教員が一人ずつ分担して作成したルーブリックを協働的に評価して修正する体制を取っていたので、なかなかそのための時間の確保が難しかった。

５．来年度へ向けての改善点

　生徒の思考力・判断力・表現力を評価するための教師用・生徒用ルーブリックをしっかりと作成できるように、夏休み中の教科部会の時間確保に努めたい。また、次年度は生徒用アンケートを実施して、ルーブリックの活用の在り方や「解説文」の書き方に関する生徒からの要望や意見を聞き出すことで、よりよい学習評価の在り方を探っていくようにししたい。